

山中裕先生著書・論文目録(三)

小口雅史編

○昭和五十六年

六月 黒板伸夫著『撰関時代史論集』 史学雑誌九〇―六

藤原道長の実像と虚像―古記録と歴史物語とのあいだ 史聚一

四・一五

七月 序文『年中行事の文芸学』(今井源衛氏と共著)(山中裕・今

井源衛編、弘文堂)

歴史物語―栄花物語を中心に 『年中行事の文芸学』(同右)

改 固

年中行事と日本の社会・風俗 『年中行事の文芸学』(同右)

十月 私の出会った一冊の本―枕草子 関東学院大学通信一〇

はかない恋日記の女 宮崎日日新聞(19日)

十一月 序―平安時代研究の諸問題によせて 『平安時代の歴史と文

学』歴史編(山中裕編、吉川弘文館)

序―平安朝文学研究の諸問題によせて 『平安時代の歴史と文

学』文学編(山中裕編、吉川弘文館)

大江家と漢文学 日本歴史叢書月報三六

十二月 伝説の母胎に潜む事実 宮崎日日新聞(7日)

師走に思う和泉式部 宮崎日日新聞(28日)

月不明 道長と娘たち(歴史の背景③平安時代) 『美しい日本』二四

歴史の背景(世界文化社)

○昭和五十七年

一月 59代宇多天皇―道真登用の寛平の治 歴史と旅九―一

二月 松村博司著『栄花物語全注釈』 国語と国文学五九―二

年中行事の発生 短歌研究三九―二

二・四月 平安の年中行事(一)(二)―正月行事(一)(二) 日本古典

文学会々報九〇、九一

四月 古記録類の多数の引用 今鏡全釈上・下巻(海野泰男著) パン

フレット(福武書店)

六月 花山院 『日本発見』三六巡礼の道(暁教育図書)

岡田章雄氏の御逝去を悼む 風俗二―一二

七月 平安の年中行事(三)―曲水の宴と雛祭 日本古典文学会々報

九二

八月 平安の年中行事(四)―端午の節会 日本古典文学会々報九三

九月 物語文学と歴史 『体系物語文学史』一 物語文学とは何か(有精堂)

清田倫子著 『宮廷女流日記文学の風俗史的考察』風俗二二―三

安和の偽計―藤原実頼 歴史読本二七―二二 改 固

十一月 藤原道長と摂関政治 国史学一一八 改 固

和泉式部とその環境 朝日新聞(19日)

十二月 平安の年中行事(五)―七夕 日本古典文学会々報九四

道長栄花の背景―一条・三条天皇と皇子たち 歴史読本二七―

一七

○昭和五十八年

一月 正月の宮廷行事 農業信用保証保険一〇四

二月 生活文化としての年中行事 『近世風俗図譜』一年中行事(小学館)

平安の年中行事(六)―重陽宴(菊花宴) 日本古典文学会々

報九五

最近の歴史物語研究―「栄花物語」を中心として 古代文化三

五―三

藤原道長と「御堂関白記」 国際日本文学研究会会議録六

雛祭と曲水の宴 農業信用保証保険一〇五

カラー図説『日本大歳時記』 風俗二二―一

『源氏物語』の準拠論について 『古代学叢論』角田文衛博士

古稀記念(角田文衛先生古稀記念事業会)

平安の年中行事(七)―新嘗祭・五節・豊明節会 日本古典文

学会々報九六

五月 井上光貞博士の逝去を悼む 古代文化三五―五

端午の節句 農業信用保証保険一〇六

六月 平安の年中行事(八)―春日祭 日本古典文学会々報九七

七月 七夕 農業信用保証保険一〇七

七月―昭和五十九年七月

「御堂関白記」と藤原道長の人物像(二)―(五) 陽明叢書

記録文書篇月報一―五 固

八月 平安の年中行事(九)―灌仏会 日本古典文学会々報九八

九月 月見―十五夜の宴 農業信用保証保険一〇八

十一月 平安の年中行事(二〇)―六月祓 日本古典文学会々報九九

菊花の宴 農業信用保証保険一〇九

十二月 「御堂関白記」と「栄花物語」 『日本古代史論苑』(遠藤元

男先生頌寿記念会編、国書刊行会) 固

源高明論 『日本史学論集』上(坂本太郎博士頌寿記念、国学

院日本文学部史学編、吉川弘文館) 固

○昭和五十九年

一月 平安の年中行事(二一)―観月の宴 日本古典文学会々報一〇〇

○

二月 小林先生の思い出 古代文化三六―二

三月 昭和史―昭和における源氏物語の研究 関東学院大学文学部人

文学部研究所報七

五月 「大鏡」の歴史観と批判精神 古文研究シリーズ一四

平安の年中行事(一一二)―亥子餅 日本古典文学会々報一〇一
角田文衛著『王朝史の軌跡』 日本歴史四三二

『和泉式部』(人物叢書、吉川弘文館)

六月 海野泰男著『今鏡膳積』上・下 国語と国文学六一―六

平安の年中行事(一一三)―追儼 日本古典文学会々報一〇二

七月 金沢の歴史と文化を知る好著 復刻版かねさは物語(関靖著)

パンフレット(国書刊行会)

九月 「栄花物語」の歴史叙述をめぐって 文学・語学一〇二

大野晋著『源氏物語』 風俗二二―三

十一月 藤原氏を支えた女性たち(平安時代) 歴史公論一〇―一

○昭和六十年

三月 中世の金沢と鎌倉 関東学院大学経済研究所年報八

源氏物語の賜姓源氏と撰関制 関東学院大学文学部紀要四三

正月の行事―古記録と物語・かな日記の間(一) 日本古典文

学会々報一〇四

四月中行事と風俗史(宮田登氏と対談) 風俗二四―一

御堂関白記と年中行事―新嘗会・五節を中心として 『東国の

社会と文化』(小笠原長和編、梓出版社)

角田文衛著『平安人物志』上(角田文衛著作集五) 日本歴史

四四三

五月 橘逸勢とその時代 書道芸術三一―二

六月 正月の行事―大饗 古記録と物語・かな日記の間(二) 日本

古典文学会々報一〇五

七月 道長の虚像と実像―栄花物語と御堂関白記 国文学解釈と鑑賞

五〇―八

第59代宇多天皇 歴史と旅二二―一〇

九月 栄花物語の編纂と年紀表現について 『栄花物語研究』一(山

中裕編、国書刊行会)

正月の行事―七日節会・白馬節会 古記録と物語・かな日記の

間(三) 日本古典文学会々報一〇六

十月 「相模の東」をめぐって―歴史的に見た相模と六浦 関東学院

大学通信一八

十一月 平安朝における年中行事、平安朝における通過儀礼 『平安貴

族の生活』(有精堂編集部編、有精堂出版)

踏歌節会―男踏歌を中心に 古記録と物語・かな日記の間

(四) 日本古典文学会々報一〇七

十二月 はしがき 『御堂関白記』全注釈 寛仁元年(山中裕編、国書

刊行会)

松村博司著『栄花物語・大鏡の成立』 平安文学研究七一

○昭和六十一年

一月 藤原公任 書道芸術四―一

三月 歴史と私 歴史手帖一四―三

四月 源氏物語の構想と成立の年代について 国文学解釈と鑑賞別冊

(源氏物語をどう読むか)

年始の儀・朝賀・元日節会・餅鏡―古記録と物語・かな日記の

間(五) 日本古典文学会々報一〇九

十一月 和泉式部研究の一端 『伝記の魅力』（日本歴史別冊、吉川弘文館）

十二月 金沢文庫と八景の歴史的意義―上行寺東遺跡との関係をみる関

東学院大学文学部紀要四八

拝礼と『和泉式部日記』―古記録と物語・かな日記の間（六）

日本古典文学会々報一一一

○昭和六十二年

一月 和様書道完成に到る文化史的背景（源豊宗・小松茂美氏と鼎談） 墨六四

三月 平安時代（中世）の白山信仰とその実態 加能史料会報三

六月 王朝の雅び―年中行事の成立 『週刊朝日百科日本の歴史』 61

撰関制と藤原道長（朝日新聞社）

七月 平安貴族と陰陽道―とくに藤原道長を中心として 神道大系月報六七

九月 朱雀天皇女御熙子女王、村上天皇中宮藤原安子、冷泉天皇中宮

昌子内親王、円融天皇中宮藤原娚子 藤原遵子 藤原詮子、花山

天皇女御藤原悛子 『歴代天皇・歴代皇后』（坂本太郎監修、

研秀出版）

十二月 司召・除目について―古記録と物語・かな日記の間（七） 日

本古典文学会々報一一三

前号目録補遺

○昭和三十二年

九月 『国史文献解説』（分担執筆、遠藤元男・下村富士男編、朝倉

書店）

註 略号などについては、本誌九六号を参照されたい。